

(2) 機器等の概要

Web サーバ	Dell Power Edge1400 カスタマイズ ミラーリング OS:Microsoft Windows2000Server
DB サーバ	Dell Power Edge1400 カスタマイズ OS:Microsoft Windows2000Server
UPS	SU700J(APC) × 2台
クライアント	Dell OptiplexGX150 カスタマイズ (デスクトップPC) × 5台 OS:Microsoft Windows2000Professional VersaPro VA86H/DX (ノートPC) × 2台 OS:Microsoft WindowsMe
プリンタ	Epson LP-2200 (レーザプリンタ) × 2台 Canon BJ-S500 (インクジェットプリンタ) × 2台
LAN/WAN 機器	CentreCOM 8624XL (L3 スイッチ) × 2台 YAMAHA RTA54i (ブロードバンドルータ) × 1台 SonicWALL XPRS2 (ファイヤーウォール) スイッチング HUB
スキャナ	Epson ES-8500 × 1台 Epson GT-9500 × 1台 (透過原稿ユニット付)
デジタルカメラ	Olympus Camedia C-3000
プロジェクタ及び スクリーン	DLP プロジェクタ 液晶プロジェクタ
OHC	
その他	DVD-RAM ドライブ, 外付 HDD (USB2.0 規格), VTR, AV 操作卓等

第2表 ハードウェア

情報管理 システムソフト	早稲田システム開発「I・B・MUSEUM」を当センター用にカスタマイズしたもの (Oracle ベース)
テキストデータ作成	MicrosoftExcel2000 MicrosoftAccess2000
画像処理 レイアウト作成	Adobe Photoshop6.0j Adobe Illustrator9.0j Adobe Acrobat5.0j
ホームページ 作成	IBM HomePageBuilder 6.5 Macromedia FlashMX メモ帳 (Microsoft Windows2000 標準添付)
ホームページ表示検証ブラウザ (Windows2000 にて使用)	Internet Explorer 6.0 Netscape 7.0 Netscape communicator 4.7.8
その他	ウイルスソフトウェア (サーバ用, クライアント用)

第3表 ソフトウェア

建築段階において反射型のスクリーンか透過型のスクリーンかのいずれを選択するか検討したが、埋蔵文化財センター研修室の構造と利用時の室内の照度確保の問題などから、透過型である DLP プロジェクタを採用することとなった。

その結果、プロジェクタを研修室に隣接する部屋に置き、透過型スクリーンに投影させることで、研修室内の明るさを落とさずとも鮮明に映像を表示させることができるようになった。



写真1 埋蔵文化財センター研修室の様子